

ICTを活用した新たな交通システムの構築【モデル地域から全県展開へ】

【バス】

バスロケーションシステム

予算額：15,972千円 (7,986千円)

乗換案内+路線データ
+GPS機能

- 不安解消 (利便性向上)
- 情報提供機能の充実

信州ナビに実装 (長野・松本地区)

H30実施事業

【タクシー】

地域に根ざしたタクシーシステム

予算額：3,600千円 (3,600千円)

ユニバーサルデザイン
タクシー導入

- 定期券タクシー
- 貨客混載
- 買い物支援タクシー等
【諏訪・下伊那地区等】

H30実施事業

相乗り配車システム (H31～ 開発予定)

予約+事前運賃決定
+同じ方向
=相乗り(配車)

相乗り配車システム構築

信州ナビに実装 (H31～)

ヒト・モノ相乗りによる交通支援サービスの提供

- ICT技術を活用したデマンド交通の効率化
(予約+配車+位置=ヒトの相乗り)
- 交通+物流の連携による貨客混載(モノの相乗り)

実証実験(H31～) (デマンド交通)

- ICT活用
- 貨客混載

【県内2か所程度】

「信州ナビ」をプラットフォームとして活用

利用者の【利便性向上】・事業者の【生産性向上】を支援

県内共通の交通系ICカードの導入(Suica対応)

【新カード】
(10カード利用可)

- バス(コミュニティバス含む)
- タクシー
- 鉄道
- ショッピング等 各種決済

導入意向の強い地域・事業者から

相互利用

JR東日本
Suica

長野地区(バス)
KURURU

更新時期を勘案し統一時期を調整

従来型の支援

対バス事業者 予算額：274,373千円
(247,363千円)

- 「地域間幹線バス路線」への
赤字補填・県有民営方式でのバス導入

対鉄道事業者 予算額：177,462千円
(129,412千円)

- 施設整備への支援(線路補修等+バリアフリー)

モビリティ・マネジメントによる利用促進

- ターゲットの状況に応じた働きかけ
- マスメディアを活用した啓発
- イベントや利用促進強化月間などの活用

幅広い分野で活用

- 政策形成に活用
- オープンデータ化

ビッグデータ 集積

- 経路検索解析
- ニーズ把握
- 行動予測 等

地域交通確保に向けた 交通の最適化

- ダイヤ編成、交通モードの
ベストミックスなどに活用
- 地域振興局を核とした
広域単位での連携・調整

自動運転等の検討

- 中山間地及び観光地への自動運転技術
の試験導入
- ドローンによる物流支援の仕組みの検討
- 市町村のまちづくり × パーク&ライド
・シェアサイクル
など

県内先進事例との連携・情報共有・横展開